

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【公表番号】特表2016-501290(P2016-501290A)

【公表日】平成28年1月18日 (2016.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-004

【出願番号】特願2015-543096(P2015-543096)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/08 (2006.01)

C 0 9 J 4/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 4/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 133/08

C 0 9 J 4/00

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 4/06

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月4日 (2016.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アクリレートベースポリマーと、

アクリレートベースポリマー 100 重量部当たり 0.05 重量部超の量の、共重合 (I) 型光架橋剤と、

窒素、酸素又は硫黄原子に対して 位にある炭素原子に少なくとも 1 つの水素原子を含むモノマーの群から選択される共重合水素供与性モノマーと、

アクリレートベースポリマー 100 重量部当たり 40 重量部超の量の、粘着付与樹脂と、を含む、放射線架橋可能な感圧接着剤前駆体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の放射線架橋可能な感圧接着剤前駆体を提供する工程と、

前記放射線架橋可能な感圧接着剤前駆体を放射線架橋する工程と、を含む放射線架橋された感圧接着剤を調製する方法。

【請求項 3】

アクリレートベースポリマーを提供する工程と、

アクリレートベースポリマー 100 重量部当たり 0.05 重量部超の、典型的には 0.10 重量部超の、より典型的には 0.15 重量部超の量の共重合 (II) 型光架橋剤を提供する工程と、

窒素、酸素又は硫黄原子に対して 位にある炭素原子に少なくとも 1 つの水素原子を含むモノマーの群から選択される共重合水素供与性モノマーを提供する工程と、

アクリレートベースポリマー 100 重量部当たり 40 重量部超の量の粘着付与樹脂を提供する工程と、

前記アクリレートベースポリマー、前記共重合 (II) 型光架橋剤、前記共重合水素供与性モノマー及び前記粘着付与樹脂を混合し、これによって放射線架橋可能な感圧接着剤

前駆体を形成する工程と、

前記放射線架橋可能な感圧接着剤前駆体を放射線架橋し、好ましくはUV線架橋し、これによって放射線架橋された感圧接着剤を形成する工程と、を含む請求項2に記載の方法。

【請求項4】

接着テープの、好ましくは両面テープの製造のための、請求項1に記載の放射線架橋可能な感圧接着剤前駆体の使用。